

<一般社団法人神戸市薬剤師会 様>

上映日：2020/10/25(日) 場所：灘区民ホール(兵庫県神戸市灘区)



実行委員会の皆さま



密にならないよう間隔を空けて座るなどの感染症対策を実施

多職種連携の教科書になる、理想的な映画です

- 上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

神戸市灘区での在宅医療推進のため、地域の方や多職種向けのシンポジウムを行うことになり、各職種の役割を知っていただくのにぴったりの映画だと思い企画させていただきました。

- 実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

神戸市薬剤師会、灘薬剤師会のワーキングチームです。

- 資金はどのように捻出しましたか？

地域医療介護総合確保基金の申請をしています。

- 地域へどのように告知をしましたか？

灘区の広報誌や新聞への掲載、地域包括支援センターや社協、婦人会、各薬局などでのポスター掲示を依頼しました。また、地元の水道筋商店街が協力してくださり、商店街でのアナウンスや、ビラまきなどもさせていただきました。

- 上映会の準備や開催など今回の活動を通じて、地域作りに繋がったエピソード等があれば教えてください。

シンポジウムの数日後、参加されていた法曹界の方が、お近くの薬局を訪ねてこられました。在宅は成年後見人とも連携が必要で、相互理解のきっかけになったと思います。

- 上映会当日の様子や、上映会開催の感想を教えてください。

映画『ピア』を鑑賞してから多職種によるパネルディスカッションを行いました。映画を観た後だったので、各職種の役割がとても分かりやすかったという意見が多く出ています。

「生きる手伝いをさせていただくという謙虚さが大切」
—くろき歯科 黒木輝哉様

「実際に病院の医師は、こんな状況で家なんて帰れないよとよく言うが、家でしっかりと看ることができることを覚えて帰ってほしい。患者さんの希望を叶えるために多職種で協力する姿を見ることで、たとえ叶わなかったとしても、患者さんも家族も満足することができる」
—関本クリニック 関本雅子様

・「在宅だけではなく外来でも薬がいっぱい残っていることがある。かかりつけ薬局として、専門性を生かして対応していきたい」

—みしま薬局 伊藤有祐様

など、パネリストからの評価もよく、フロアからの質問も活発に出て、熱心に観ていただけたことがわかり、とても嬉しく思っています。

- 今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いいたします。

多職種連携の教科書になる理想的な映画です。医療介護に関わる全ての職種の方に、そして今生きている、すべての方に観ていただきたいと思います。

ご担当者：常務理事 小塚ひとみさん

<一般社団法人神戸市薬剤師会 様>
神戸市薬剤師会では、さまざまな事業を通して、市民の皆様が健康的な生活を送ることができるように活動しています。